

2022年 4月  
あさかぜ保育園子育て支援だより



あさかぜ保育園のみなさん、新入・進級おめでとうございます！！

保護者の皆様、新年度になり毎日が大変忙しく過ごされているのではないのでしょうか？

保育園も、ついこの3月末までは2021年度のクラスで子どもたちと一緒に一年間の振り返りや成長を話し、部屋の片づけをしていました。

3月31日が一夜明けると4月1日。(当たり前です 笑)とたんに新年度のクラスです。年度末に保護者の皆様に協力をしていただきながら、その間に新年度の準備をします。保護者の皆様の協力無しでは、なかなか出来ない事が多々あります。今後とも、よろしく願いいたします。(m(\_)\_m)

実は、経験豊富な保育士ですらクラスが変わると緊張します。子どもなら、なおさらですね。

クラスが変わり部屋の環境も今まで使っていた物と違います。一番違うのは一年間慣れ親しんだ担任が変わる事です。だったら、そのまま・・・と思われるかもしれませんが、しかし、子どもは色々な人と関わり、様々な環境に触れ慣れ親しむ事で成長をしていくと思います。子どもは、自ら環境に働きかけて、自分の世界を広げる存在とも言われています。

あさかぜ保育園では、担任だけがクラスの子に関わっているわけではありません。(他の保育園でも同じだと思います)保育園全体で一人一人の子どもを共有しています。ただし、担任の場合はクラスで直接、長時間関わりますので子どもとの関係は濃密だと思います。

保護者のみなさん、4月当初 保育園へ登園しようと思いきや、子どもの涙や行きしぶり・・・ということもあります。新しいクラスへ慣れるまで早い子どもで一週間。長い子どもは、一ヶ月近くかかる事もあります。(案外スムーズに慣れる場合もありますが・・・)

その時なんですね。子どもの涙や行きしぶりが長い期間かかると、親は仕事のこともあり「なんでうちの子は・・・」と心がしめつけられる思いがしませんか。

保育園の先生に我が子を手渡す時、服をひっつかまれ泣かれると一日心配で「朝から、まだ泣いているのかしら・・・」と迎えに行くまで心がざわざわしていたのでは？しかし、子どもたちは保育士に抱かれ、ゆったりとした言葉をかけられているとしだいに落ち着いて、少しずつ周りに目が向き始めます。涙が乾いてくると友だちの動きや遊びが気になり自ら保育士の腕から降ります。この保育士へ抱かれる時間が段々短くなってくると、登園時の子どもたちの涙

や行きしづりが減ってきます。

親も子どもも、この時期は大変と思いますが心に少し余裕を持って接してみてください。「何時かは慣れる」って思いながら・・・。

新しい担任・園と連携をとりながら子育てをしていきましょう。分からない事は聞いてくださいね。担任も園も、しっかり耳を傾け応えていきたいと思えます。ただし子どもの声・動作など、忙しいと思いますが気を付けて良く見てください。体調が悪い場合もありますからね！

子どもの心の声を見逃すことなく、寄り添い、ほめる言葉をしっかりかけていきたいですね。

これから一年間、いろいろ予測出来ない事が多々あると思います。子どもだけではなく、社会情勢も毎日変化していくと思います。しかし、子どもの未来を守るのは私たち大人です。しっかり、タッグを組んで子どもの未来を確かな世界にしていきたいと思いますね！

